

## 大丈夫

「だいじょうぶ」

「間違いない」から大丈夫

「あの人にまかせておけば大丈夫です。心配ありませんよ」というように、大丈夫とは、間違いない、あぶなげない、非常にしつかりしている様子を意味しています。

もともと、大丈夫は人のことを指しています。丈夫、つまり、ますらお、男子をほめていう言葉ですから、偉大な人、りっぱな人、しつかりした人のことをいいました。

この言葉が仏教に取り入れられました。

「仏」を意味する十種の呼び名（仏の十号）の中に、「調御丈夫」というのがあり、また、『華嚴経』<sup>★けこんきょう</sup>に、「もし諸の菩薩<sup>ぼさつ</sup>この法に安住す

れば即ち大丈夫の名号<sup>みょうごう</sup>を得ん」とあります。

このような人は、たよりがいがあり、間違いないところから、いまのように用いられるようになったのですね。

しかし、ほんとうの意味で大丈夫なのは、やっぱり仏さまですね。

大丈夫

